

鴨川・高野川 平成28年度整備内容

① 北大路橋～北山大橋間

「〈治水対策〉中州管理」
堆積土砂の撤去 L=500m



【施工中】

② 葵橋 左岸

「〈公共空間整備〉拠点整備」
鴨川ギャラリー（パネル・ベンチ）



【完了】

③ 仏光寺口～松原橋付近 右岸

「〈公共空間整備〉拠点整備」
園路整備（土系舗装） L=200m



【施工中】

④ 水鶏橋～竹田橋 右岸

「〈治水対策〉護岸整備」
高水護岸 L=250m



【完了】

⑤ 鳥羽大橋上流 右岸

「〈治水対策〉護岸整備」
低水護岸 L=250m



【完了】

⑥ 鳥羽大橋下流 右岸

「〈治水対策〉護岸整備」
低水護岸 L=350m



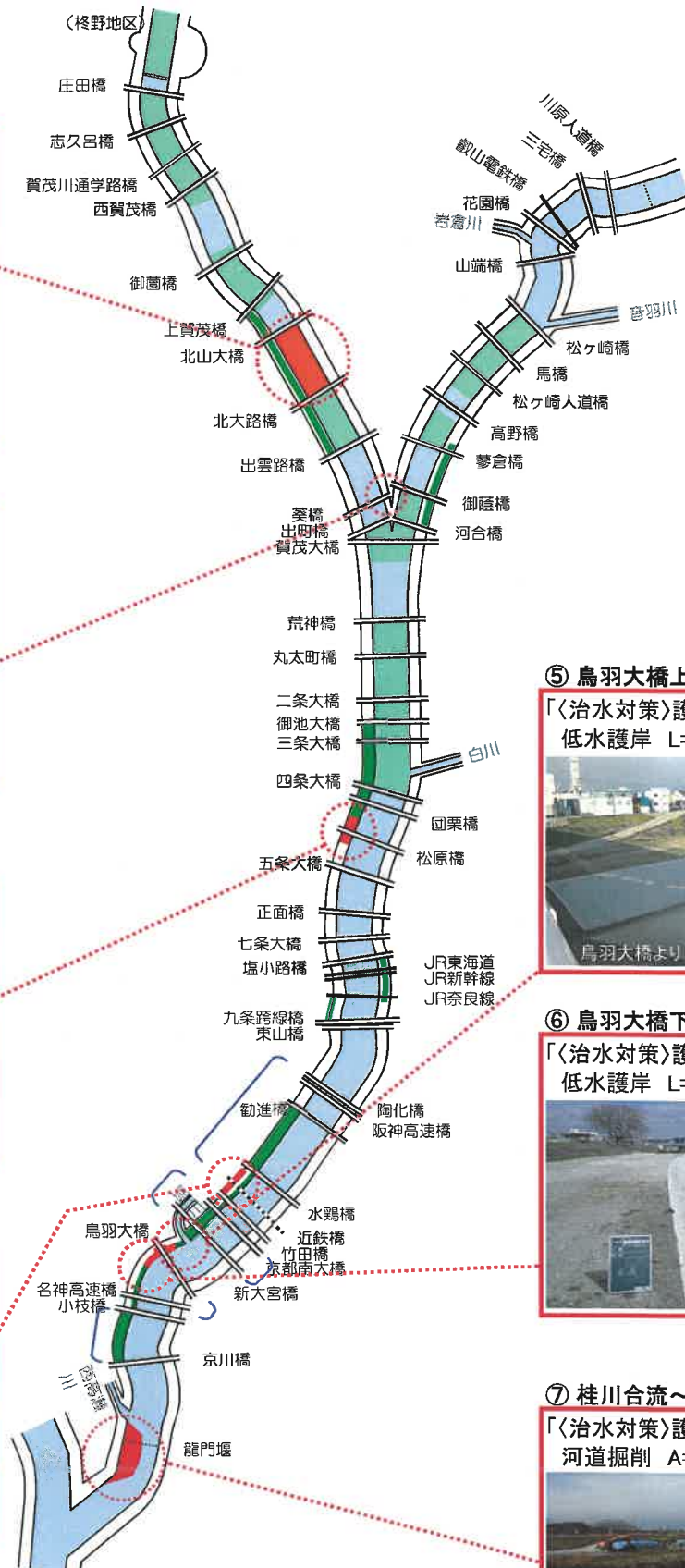
【完了】

⑦ 桂川合流～西高瀬川合流 右岸

「〈治水対策〉護岸整備」
河道掘削 A=25,000m³



【施工中】

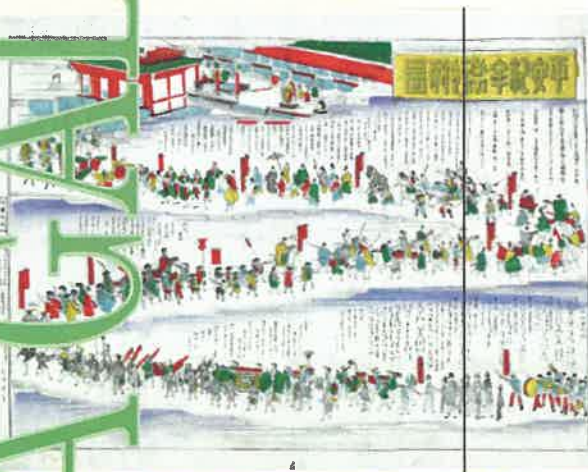


- H21～H27整備箇所
- H28 整備箇所
- 下流域拠点整備

鴨川ギャラリー



出雲路橋・葵橋・出町橋
丸太町橋・二条大橋
御池大橋・四条大橋



出雲路橋（左岸）

「洛東洛西洛南洛北京名所交通図会 洛北」



京都府立総合資料館 所蔵

出町橋（右岸）

「賀茂祭図屏風 雪堂（左隻）」



(個人蔵)

御池大橋（右岸）

「鴨川遊楽図屏風」



(逸圃美術館 蔵)

四條大橋（右岸）

「皇都祇園祭礼四条河原之涼」



(立命館アート・リサーチセンター 蔵)

葵橋（左岸）

「葵橋と市電」



丸太町橋（左岸）

「平安記年祭行列図」



(京都市歴史資料館 蔵)

二条大橋（右岸）

「国宝 上杉本 洛中洛外図屏風」



(米沢市上杉博物館 蔵)



鴨川ギャラリーとは・・・

歴史都市京都の中心部を穏やかに流れる鴨川には、四季を通じて国内外から多くの観光客が訪れるとともに、憩いや安らぎの場として広く府民の皆様に親しまれており、この鴨川に架かる橋の下の空間を利用して京都の歴史・文化などの魅力を発信するため、京都府では、平成24年度から「鴨川ギャラリー」を整備しております。

※京都府では、この美しい鴨川を次の世代に継承していくため、平成19年7月に「京都府鴨川条例」を制定し、府民協働の理念のもと、安心・安全の確保、良好な河川環境の保全、快適な利用の確保に取り組んでいます。

鴨川ギャラリーの整備には、「株式会社京都ホテル」、「積水ハウス株式会社」、「ワタキューセイモア株式会社」、「株式会社京都銀行」、「京都中央信用金庫」、「京阪バス株式会社」、「JR西日本京都駅グループ6社（株式会社京都駅観光デパート、京都駅ビル開発株式会社、京都ステーションセンター株式会社、株式会社ジェイアール西日本伊勢丹、株式会社ジェイアール西日本ホテル開発、西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部京都支社）」、「株式会社ベリー・プロジェクト」の御支援をいただきました。

(寄附年別、五十音順)

京都府 河川課・京都土木事務所

葵橋鴨川ギャラリー除幕式について

葵橋左岸下に新たな鴨川ギャラリーが設置され、3月6日（月）にその除幕式が開催されました。鴨川府民会議メンバーと地元の住民の方に御出席頂きました。

<除幕式会場 葵橋左岸>



<除幕>



<工事担当者から解説>



<出席者の記念撮影>



展示されている写真は1956年、約60年前に市電が開通した当時人や自動車は通れず市電のみが走っている写真です。

解説は、「市電の歴史」では明治45年の営業開始から昭和53年9月末の完全廃線までの経過を紹介し、「葵橋と市電」では市電が走る鴨川に架かる橋の中で最後に開通したのが葵橋で開通当時は道路としての橋は未完成で電車のみが走っていたことが紹介されています。

<葵橋鴨川ギャラリー>



鴨川河川改修工事（京都市伏見区）でのヒ素等の検出について

平成29年3月9日
京都府京都土木事務所
(075-701-0103)

下記のとおり、鴨川河川改修工事で掘削土から、微量のヒ素及びフッ素が検出されましたのでお知らせします。

記

1 検出物（土壤環境基準）

	溶出量 (mg/リットル)	基準値 (mg/リットル)
ヒ素	0.016	0.01
フッ素	0.91	0.8

参考：・ヒ素の土壤溶出量基準は、体重50kgの人が、70年間、毎日2リットルの地下水等を飲み続けた場合、健康に影響を及ぼさないように定められた基準です。（環境省資料より）

・フッ素の土壤溶出量基準は、斑状歯発生予防の観点から定められた基準です。（環境省資料より）

※斑状歯：歯のエナメル質が白く濁って見えること。

2 工事概要

(1) 工事名：鴨川広域河川改修（経対・防安）工事

(2) 工事場所：京都市伏見区下鳥羽下向島地内
（鴨川最下流（桂川合流点付近））

(3) 工事内容：工事延長 L=250m
掘削工 V=13,000m³
内、土壤環境基準を超えた土は約 6,000 m³

(4) 工期：平成29年1月～5月

3 今後の予定

土壤環境基準を超えた約 6,000 m³の掘削土については、適切な処理施設へ搬出の上処分し、その他の掘削土は一般の残土処分場へ搬出し処分します。

なお、仮置きしている掘削土については、飛散ないようにブルーシートで覆うとともに、現場にはフェンス等で進入防止措置を図ることとします。

